

熱中症対策推進事業

令和4年11月9日（水）

内閣官房行政改革推進本部事務局

説明資料

本年の秋のレビューの方針

E B P Mの手法を各府省庁に幅広く普及させていく「起点」としての議論を行う

- E B P Mの手法を全事業（5,000事業）に波及させ、**底上げを図る**ことを目指す
- 個別事業の要否ではなく、E B P Mの手法の実践に向けた**改善策を中心に議論**を行う

セッション1（個別事業）

- **全事業でのE B P Mの手法の実践**に向けて、原則各省1テーマずつ選定
- **政策の効果の向上や、柔軟な見直しに資する方策を中心に議論**
 - ・ ロジックの確認
 - ・ 初期・最終アウトカム（成果目標・指標）の的確な設定
 - ・ 効果測定方法の改善などの論点を設定

セッション2（今後の行政事業レビューの改善について）

- 11月10日（木） 14：15～15：45
- セッション1の議論等を踏まえ、**行政事業レビューをE B P Mの実践に繋げていくための具体的方策**について議論

事業の概要

【事業目的】

- ・ 熱中症に関する必要な知識を分かりやすく普及啓発し、予防意識を向上させ、熱中症の発生を減少させる。
- ・ 地方自治体における熱中症対策促進の支援を行い、地域の特性を生かした具体的な取組を広げる。 等

【主な事業内容】

- (1) 熱中症に係る啓発資料作成
- (2) 熱中症対策に係る指導者養成
- (3) 地域における効果的な熱中症予防対策支援 等

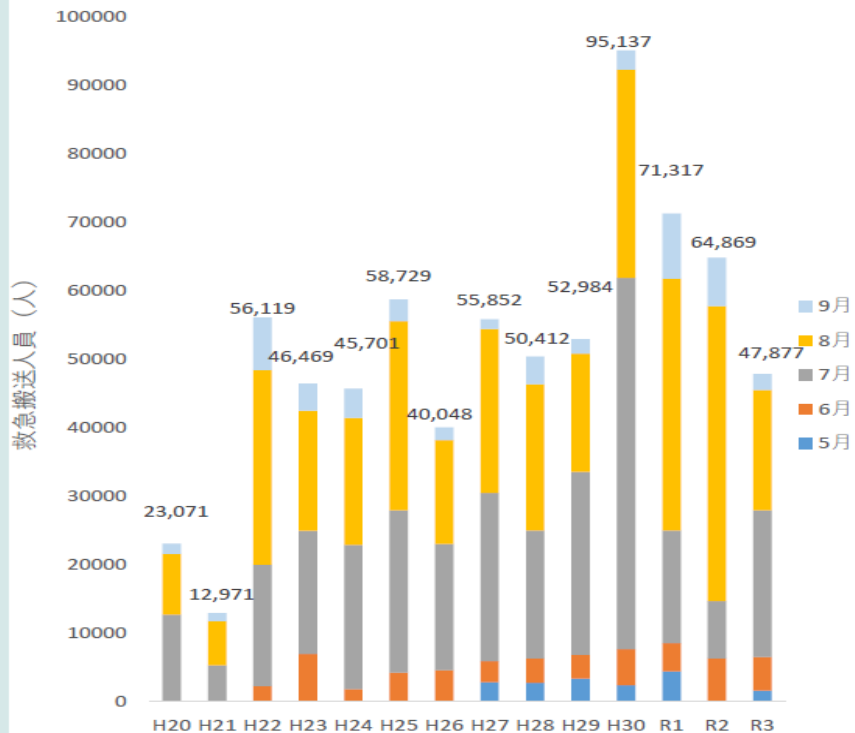
【事業形態・実施期間】 請負事業・平成24年度～

【予算額】 令和5年度概算要求：279百万円（令和4年度当初：122百万円）

(参考) 熱中症による救急搬送人員と死亡者の状況

熱中症による救急搬送人員の状況

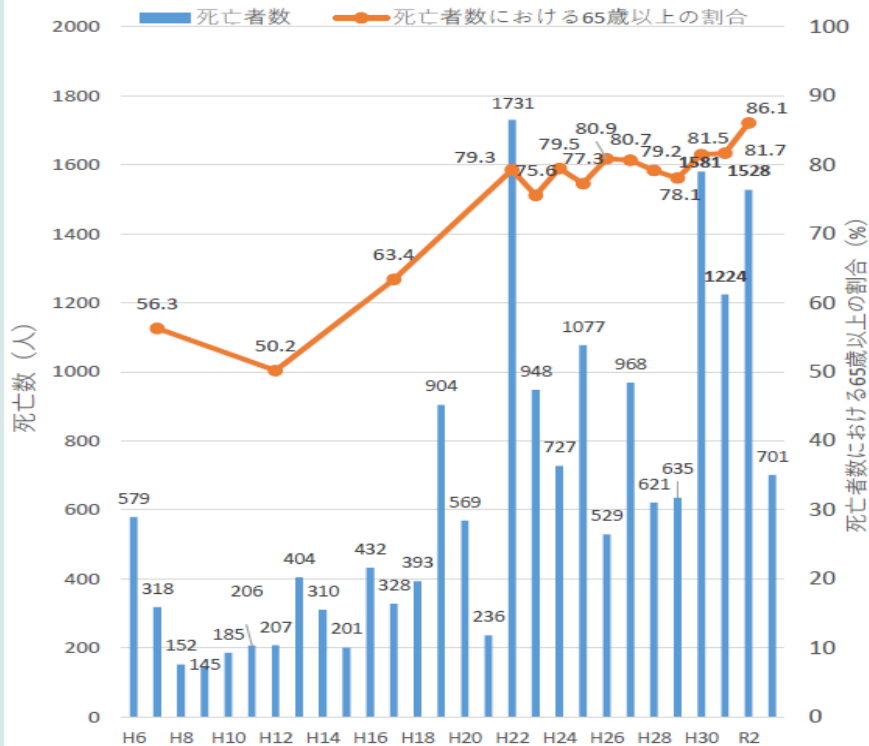
例年4～5万人前後の救急搬送人員が発生



出典：消防庁

熱中症による死亡者の状況

平成30年から令和2年まで、3年連続1,000人を超えている



※令和3年の値は6月～9月概数

出典：人口動態統計

論点となる事項①

(環境省) 令和4年度行政事業レビューシート (試行版) 熱中症対策推進事業【ロジック①】※一部抜粋

活動内容 (アクティビティ) 熱中症に関する基礎的な知識をはじめ、高齢者や子どもの熱中症対策や学校現場などでの熱中症対策に関して、自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象としたシンポジウムや講習会を開催して、予防知識の普及を図る。特に、令和3年度から全国展開している熱中症警戒アラートについて、当該アラート情報を活用して各現場において具体的な予防行動をとってもらえるよう周知徹底を図る。

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	シンポジウム・講習会への参加		熱中症に係るシンポジウム・講習会の実施回数	活動実績	回	2	7	2	-
当初見込み				回	16	16	10	2	-

成果目標及び成果実績 (初期アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度					
								7年度	12年度					
			熱中症予防情報サイトのアクセス件数を近年の最大件数程度とする。					成果実績	件(千件)	29,010	47,587	43,640	-	-
								目標値	件(千件)	30,000	29,000	47,587	50,000	50,000
達成度	%	96.7		164.1	91.7	-	-							

成果目標及び成果実績 (最終アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度					
								7年度	12年度					
			少なくとも「熱中症警戒アラート」の発表時はエアコンを使用して頂く					成果実績	%	-	48	59	-	-
								目標値	%	-	-	-	70	90
達成度	%	-		-	-	-	-							

論点となる事項②

(環境省) 令和4年度行政事業レビューシート (試行版) 熱中症対策推進事業【ロジック②】※一部抜粋

活動内容 (アクティビティ) 地方自治体における熱中症対策を促進するため、「地域における効果的な熱中症予防対策支援事業」として、モデル地域を選定し、地域における優れた熱中症対策に支援を行い、モデル地域の取組を報告会等を通じ、全国へ波及させることを目指す。また、モデル地域における取組の紹介を含む「地域における熱中症対策ガイドライン(仮)」を令和4年度に作成して、全国への横展開を図る。

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	地域における優れた熱中症対策の取組を支援し、地域住民に対する熱中症対策の理解を促す。	本事業に参画したモデル地域数	活動実績		自治体数	-	-	8	4
当初見込み				自治体数	-	-	8	4	-

成果目標及び成果実績 (初期アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度	
	自治体において、暑くなる前から熱中症対策が実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながる。	自治体(R元年度は184自治体、R2年度は156自治体、R3年度は802自治体)を対象としたアンケートで、暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合	成果実績		%	93.5	89	68	-	-
			目標値		%	100	100	100	100	100
			達成度		%	93.5	89	68	-	-

成果目標及び成果実績 (最終アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度	
	熱中症死亡者の「年1,000人以下」という目標をR12年まで継続的に達成し、顕著な減少傾向に転じさせる	熱中症による年間死亡者数	成果実績		人	1,224	1,528	750	-	-
			目標値		人	-	-	1,000	1,000	1,000
達成度				%	-	-	-	-	-	

論点となる事項③

● 主な事業内容（令和5年度予算概算要求資料（抜粋））

啓発等を引き続き実施するとともに、令和5年度は、今年度策定予定の「地域における熱中症対策ガイドライン（仮称）」の着実な実行を図るため、異常な高温の発生等の災害時対応も念頭に置いて、地域の特性や関係者の連携を生かした具体的な取組を支援し、全国的に取組を展開していく。

● 熱中症対策に係るシンポジウム 開催実績

年度	開催回数	参加者数	対象者
令和元年度	2回	360人	<u>自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象</u>
令和2年度	※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止		
令和3年度	1回	717人	<u>自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象</u>
令和4年度	1回	1,326人	<u>自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象</u>

（出典）環境省集計データを基に作成

● 地域における熱中症対策ガイドライン策定等に係るモデル事業

<令和3年度>

- ・ 8自治体でモデル事業を実施
- ・ 各地方自治体が、それぞれの地域特性を踏まえた上で、多様な関係主体によるアプローチ「共助」の取組や、地方自治体による「自助」「共助」の後押しを含め包括的・体系的に熱中症対策を実施する「公助」の取組を環境省として支援

<令和4年度>

- ・ 4自治体で追加のモデル事業を実施
- ・ 自治体事例発表

**地域における熱中症対策
ガイドライン策定**

<令和5年度（要求）>

- ・ 地域モデル事業の実施等
ガイドラインを踏まえた熱中症対策の地域における実施の支援等

（出典）環境省公表資料等を基に作成

主な論点

- 熱中症対策の取組に変化もみられる中、普及啓発活動（熱中症に対する意識の向上）に係るロジック（①）は適切か。また、各指標は、同活動の効果を検証するためのものとして適切か。
- 自治体への取組支援に係るロジック（②）について、各指標は、同支援の効果を検証するためのものとして適切か。
- 普及啓発や自治体への取組支援といった熱中症対策について、より効果的なものとなるよう見直しが必要ではないか。